



「強風による建築物等の疲労損傷問題の現状と展望」

主旨：非常に稀な地震、台風、竜巻等による激甚災害における建築物，構造物の被害は顕著なため，設計に際しては，最大荷重に関心が向かいがちです。しかし，継続的に受けているダメージの蓄積が構造物の耐力低下につながる疲労損傷問題は，歴史的に見ても構造物の設計において重要で，忘れてはなりません。構造物の大型化，複雑化に伴って，被害要因も複雑化し，疲労損傷の蓄積がどのような形で被害となって顕在化するか予想が困難です。安全保障や資産の保全という意味を含めて，社会資本としての既存構造物や，今後建設される新たな構造物の疲労損傷を含めた安全性のパフォーマンスを検討することが重要であるという問題意識に基づき，特に継続的で作用時間の長い，風応答による構造物・部材の疲労損傷問題を，さまざまな構造物や部位，材料について検討したいと考え，公開研究会を企画しました。ご関心のある方の参加をお願い申し上げます。

大熊武司（神奈川大学名誉教授）

参加希望者多数のため、会議室を大きな部屋に変更いたしました。

主催：東京工芸大学

共催：一般社団法人日本免震構造協会

開催日時：2014年2月19日（水）

13：00～17：00

開催場所：新宿 NS ビル（右記）

3階西ブロック会議室 **3-J**

参加申込：事前登録制とさせていただきます。

wejurc+140219p@gmail.com に、ご氏名、ご所属、連絡先をお送りください。

問い合わせ先：東京工芸大学 風工学研究拠点 事務局（TEL：046-242-9658）



プログラム（講演者の都合により変更されることがあります。）

- | | | |
|-------------|----------------------------|---------------------|
| 13:00～13:10 | 【主旨説明】強風による疲労損傷に関する問題 | 大熊武司（神奈川大学） |
| 13:10～13:40 | 超高層建築物の外装材に関する強風による疲労損傷問題 | 寺崎 浩（大成建設） |
| 13:40～14:10 | 強風の評価方法：等価継続時間の評価方法 | 松井正宏（東京工芸大学） |
| 14:10～14:40 | 強風の評価方法：成因による疲労損傷度への影響の違い | 安井八紀（泉創建エンジニアリング） |
| 14:40～15:10 | 免震部材の疲労損傷評価例，実験方法とその結果 | 竹中康雄（小堀鐸二研究所） |
| 休憩 10分 | | |
| 15:20～15:50 | 超高層免震建築物の強風による疲労損傷問題 | 吉江慶佑（日建設計） |
| 15:50～16:35 | 【招待講演】鉄鋼材料の疲労特性（質疑 15分を含む） | 誉田 登（新日鐵住金（株）鉄鋼研究所） |
| 16:35～16:50 | 総合討議 | 司会：田村 和夫（千葉工業大学） |
| 16:50～17:00 | まとめ | 田村 和夫（千葉工業大学） |